

甲南大学法科大学院入学試験問題について

－ 2014 年一般入学試験（後期募集） －

試験科目：刑法

1. 出題趣旨

先行者による犯罪遂行の途中から意を通じて関与した者の罪責や、暴行後に領得の意思を生じて財物を取得した者の罪責など、刑法総論及び各論の基本問題についての理解を問うものである。

関連判例は、大阪高判昭和 62・7・10 高刑集 40 卷 30 号 720 頁、最決平成 24・11・6 刑集 66 卷 11 号 1281 頁、大阪高判平成 1・3・3 判タ 712 号 248 頁等。

2. 採点実感

基本的事項についての理解が正確であるか否か、また、結論の具体的妥当性のみならず、結論に至る過程が論理的かつ明快に示されているか否かを重視した。

3. 学習方法

条文（「文言」）、規範、具体的事実の関係を意識しながら学習されたい。